

# 富山県福岡町山王方言の否定の表現

齋藤 孝滋

## I. はじめに

1. 調査対象地：富山県方言は、従来大きく高岡市を中心とする呉西地域と富山市を中心とする呉東地域とに区画されている[註1]。ここで対象とする西砺波郡福岡町山王地区は、呉西地域の中心である高岡市中心部から8 kmほど南西の稲作地帯に位置する戸数約780戸、人口約3250人の集落である。流通・経済等の面では、北側数百mに北陸を東西につなぐJR北陸本線と国道8号線が通り、またいくつかの中小企業やその工場があり、高岡の近郊地域としての役割を担った地区といえる。
2. 調査年月日： 1995年3月7日 午前10時～11時30分
3. 話者： 池田千代氏 大正6年1月7日（78歳）  
誕生～言語形成期；福岡町山王。19歳～現在；（近隣の）高岡市
4. 調査者・調査場所：齋藤孝滋、話者宅（高岡市岩坪）なお、調査に際しては話者の孫である和美氏（21歳、誕生～現在；高岡市岩坪、富山大学人文学部学生）が同席した。
5. 調査方法： 統一調査票による質問調査
6. その他：
  - ① 複数回答の使い分けについては説明を記す。〈多〉〈丁寧〉等。
  - ② 表記はカタカナ表記であるが、詳細は以下のとおりである。  
ガ行鼻濁音は半濁点を付し（例；「ガ」）、ガ行破裂音（例；「ガ」）と区別した。また話者に音現象として(a)共通語の「イ」が「エ」に統合・(b)共通語の「シ」が「ス」に統合・(c)語中子音有聲化現象等がみとめられた。(a)・(b)に関しては、音韻論的観点を導入して表記をそれぞれ「エ」・「ス」に統一し、(c)に関しては、明確な有声音である場合（例；[g]）のみ濁音表記（例；「ガ」）を用い、微妙な有聲化音の場合（例；[ɸ]）は清音表記（例；「カ」）を用いた。
  - ③ アクセントは、高めを棒（例；アメ）引きで記す。また、拍内での高から低への音調を二重棒（例；アメ）引きで記す。なお、音調現象として「ゆすりアクセント」（例；オモータ、ナエー）[註2]がみとめられる。
  - ④ 各パートごとに調査項目とは別に注意される事を、〈補記〉として記しておく。

## II. 調査結果

1. 行かない ○ドコエモ ユカントコート オモータ。
2. 降らないよ ○キョー アメ フランガデ ナエー。
3. 行きません ○キョーワ ドコエモ ユカンヨ。
4. 行きはしない ○キョーワ ドコエモ ユカンヨ。

5. いらっしやらない ○センセーワ ドコエモ エカレナエ デスケー。
6. 行かなかった ○キョーワ ドコエモ ユカラ<sup>ン</sup>ダ。
7. 行きはしなかつた ○キョーワ ドコエモ ユカラ<sup>ン</sup>ダ。
8. 行くまい ○キョーワ ドコエモ ユカントコート オモテ。
9. 出まい ○エガンドコート オモテ。

〈補記〉「行く」は「ユク～エク」のゆれがみられる。ここでは語中子音有声化現象もみられ「エグ」となっている。

10. すまい ○ナニモ {①セトコート オモ<sup>リ</sup>テ。 ②ショーマエ。 ③セソマエ。}
11. 降らないだろう ○キョーワ アメ {①フランヤロー。 ②フンマエ。}
12. 降るにちがいない ○キョーワ アメガ フルマエカ。
13. 来ない ○キョーワ タレモ エラッサラン ヤロー。

〈補記〉「誰」は「ダレ」～「タレ」のゆれがみられる。

14. 来はしない ○キョーワ タレモ エラッサラン ヤロー。
15. 来なかつた ○キョーワ ダレモ エラッサランダ。
16. 見ない ○ミン。
17. 居ない ○キョーワ タレモ オラン。
18. 行かずに ○ドコエモ エカント ウツニ オッタ。
19. 行かなくても ○エカ<sup>ン</sup>デモ エー。
20. 行かなければ ○ユカニヤ<sup>ー</sup>ヨカッタ。
21. 行かねば ○ドー{①アッテモ ②ステモ}{①ユカ<sup>ン</sup>ナラン。 ②ユカニヤ<sup>ン</sup>ナラン。}
22. 行かねばならない ○{①ユカ<sup>ン</sup>ナラン。 ②ユカニヤ<sup>ン</sup>ナラン。}
23. ～ズ(ヤ・ジャ・ダ) ○エカ<sup>ン</sup>ヤ。
24. 行きもせず・来もしない ○エキモセ<sup>ン</sup>ス キモセ<sup>ン</sup>ス。
25. 行くか往かないかわからない ○ユッカ ユカ<sup>ン</sup>カ ワカラン。
26. 無い ○コッダケスカ ナエ。
27. 無いねえ ○コッダケスカ ナエネー。
28. ありはしない ○アツ<sup>ツ</sup>エトスワ {①ナンナエ。 ②ナエネー。}
29. 無かつたねえ ○アツ<sup>ツ</sup>エトスワ ナカ<sup>ツ</sup>タネー。
30. ありはしなかつた ○コンナ トス ナカ<sup>ツ</sup>タネー。
31. 無いだろう ○ナエヤロー。
32. 無ければ ○ナケリヤ<sup>ー</sup> エー。
33. 暑くない ○キョーワ アンマリ {①アツ<sup>ー</sup>ナエ。 ②ヌク<sup>ー</sup>ナエ。〈古〉}
34. 暑くはない ○キョーワ アンマリ {①アツ<sup>ー</sup>ナエ。 ②ヌク<sup>ー</sup>ナエ。〈古〉}
- \* (「33暑くない」と同じ。)との説明あり。
35. 暑くなかつた ○キョーワ アンマリ {①アツ<sup>ー</sup>ナカ<sup>ツ</sup>タ。 ②ヌク<sup>ー</sup>ナカ<sup>ツ</sup>タ}

タ。〈古〉}

36. 暑くはなかった ○キョーワ アンマリ {①アツーナカッタ。 ②ヌクーナカッタ。〈古〉}

\* (「35 暑くはなかった」と同じ。)との説明あり。

37. 暑くないだろう ○アスタモ アツーナエヤロー。

38. 涼しくないねえ ○アマリ スースクナエ。

39. にぎやかでない ○ハンジョーデナエ。

〈補記〉ハンジョーは、共通語の「にぎやか」の意味で用いられる。

40. にぎやかではない ○ハンジョーデナエ。

\* (「39 にぎやかでない」と同じ。)との説明あり。

41. にぎやかでなかった ○アマリ ハンジョーデ ナカッタ。

42. にぎやかではなかった ○アマリ ハンジョーデ ナカッタ。

\* (「41 にぎやかでなかった」と同じ。)との説明あり。

43. にぎやかではなからう ○ハンジョーデ ナカロー。

44. 花ではない ○ハナデ ナエ。

45. だめだ ○ソнна コトデ アカンヤ。

46. だめなやつだ ○アエツァー アカンヤッチャ。

47. つまらない ○ダランコト ユーモンデ ナエ。

〈補記〉「ダラ」は、ほぼ共通語の「バカ(馬鹿)」に相当する。

48. いけない ○エッテワ アカン。

49. 言カレン ○ユカレン。

50. 行くな ○{①ユクナ。 ②ユッタラ アカンヨ。}

〈補記〉「行く」は、音便形にまで語幹「ユ」が現れる点で特徴的である。

51. するな ○エタズラ {①スルナ。 ②スラレンナ。〈丁寧〉}

52. 行くもんでない ○エッタラ アカン。

53. たまらない ○アツーテ ナラン。

54. しかたがない ○アメ マットッテモ スカタナエ。

55. 楽ではない ○ラクジャナエ。

56. 歩きたくない ○アルキタナエ。

57. 大丈夫だ ○ダエジョーブ。

58. いや ○ナーン フランダエ。

59. いや(強い否定) ○ナーン。

60. いいえ ○ナーン。

61. いや(否定問いかけに対する応答①雨が降った場合) ○ウン フッタ。

いや( " ②雨が降らなかった場合 ○ナーン フランダ。

〈補記〉ナーンは、共通語の「いや・いいえ」に相当し、老年層から若年層まで広く用いられる表現である。

- 6 2. どういたしまして ○オカマエモ エタスマセンデ。  
6 3. できない ○デキン。  
6 4. 読むことができない（状況） ○ヨマレン。  
6 5. 読むことができない（能力） ○ヨマレン。  
6 6. 出られない ○{①デラレン。 ②デレン。〈多〉}  
6 7. 食べられない ○クエン。  
6 8. 食べることができない ○{①タベラレン。②タベレン〈多〉。③クエン。〈乱暴〉}

〈補記〉「食事をとる」場合には「タベル」を、「対象物が食べられるものか否かを問題にする」場合は「クー」を用いるのが一般的とのことである。

- 6 9. 知るものか ○ソナン {①スラン。②スルカエネ。}

\*②は、調査時には得られなかったが、孫の和美氏により話者が日常用いているとの情報が得られた表現である。

- 7 0. 誰が行くものか ○ダレ エッコッチャ。  
7 1. なんで行くか（行くものか） ○ソナトコ ナンセンニ エク。  
7 2. なんで恥ずかしいものか ○ナニ ハズカスー。  
7 3. 行かないでおるものか（行くとも） ○エガンデカ。  
7 4. やれるか ○ヤレルケ。  
7 5. シテイラン ○ステエラン。  
7 6. 少しもはかどらない ○チョッコスモ ハカドラン。  
7 7. ぜんぜんできていない ○{①サッパリ ②マンデ〈古〉} デケンワー。

〈補記〉②マンデは、共通語の「マルデ」に対応するようである。

- 7 8. izzこうに降らない ○アメ チョッコスモ フラン。  
7 9. あまり降らない ○アンマリ フラン。  
8 0. （予想外に）たくさん ○デッカエト トレタ。  
8 1. いいではないか ○エカンデモ ヨエガンナ エー。  
8 2. いいのではないか ○ワザワザ エカンデモ エーガジャナエー。  
8 3. いいかもしれない ○ワザワザ エカランデモ エーカモ スレン。  
8 4. 行かないか ○イッシュニ {①エカンエー。 ②エカンマエカ。}

\*②は、調査時には得られなかったが、孫の和美氏により話者が日常用いているとの情報が得られた表現である。

- 8 5. くれないか ○モッテ クレンエー。  
8 6. くれませんか ○モッテ クレンエー。  
8 7. 下さいませんか ○モッテ クダサラン。

88. 1. かないと      ○ハヨー      ユカンナン。

### Ⅲ. 総括(まとめ)

福岡町山王方言における否定の表現の特徴を挙げると凡そ次のようである。

- (1) 共通語の「動詞+ない」には、方言の「動詞+ン」が対応する。
- (2) 共通語の「動詞+なかった」には、方言の「動詞+ランダ」・「動詞+ンダ」が対応する。
- (3) 共通語の「ない(形容詞)」・「形容詞+ない」・「形容動詞+ない」・「名詞+ない」の否定部分には、方言の「ナエ」が対応する。特に「形容詞+ない」の場合は、形容詞語尾に音便がみられる(アツーナエ「暑くない」)。
- (4) 共通語の「動詞+ないだろう」・「形容詞+ないだろう」・「形容動詞+ないだろう」の否定推量部分には、それぞれ「ンヤロー」・「ナエヤロー」・「ナカロー」が対応する。また、動詞に「マエ」(まい)が接続する例もみられる。
- (5) 共通語の不可・禁止に用いられる「ダメダ・イケナイ」には「アカン」が対応する。
- (6) 共通語の「いや・いいえ」には「ナーン」が対応する
- (7) 状況による不可能と能力による不可能は表現上区別されない。
- (8) 「動詞+はしない」・「形容詞・形容動詞+はない」という形式は見出せない。

[注1]下野雅昭 1983「10 富山県の方言」(飯豊毅一他『方言誌6 中部地方の方言』国書刊行会)

[注2]藤原与一 1969「越前の一小方言について」(『国文学』50)

(さいとう こうじ 富山大学助教授)